

KINDAI KENCHIKU

近代建築

May

5

Vol.79
2025

特集 庁舎建築の計画と設計



田辺市庁舎

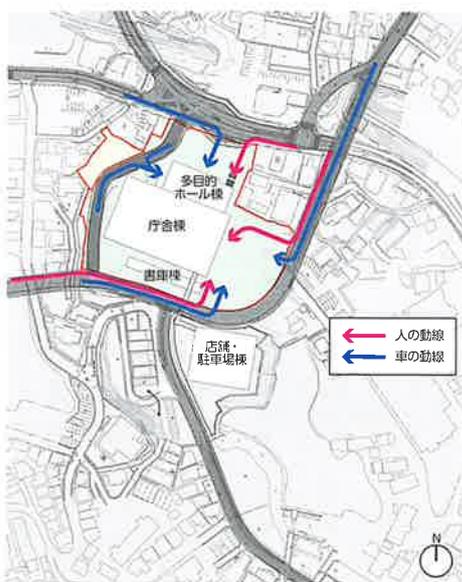
和歌山県田辺市

設計・監理 / 石本建築事務所

施工 / 田中・東館・山幸特定建設工事共同企業体



交流モール



広域配置図

高低差のある敷地をつなぎ、まちをつなぐ「交流拠点」

和歌山県田辺市の新庁舎の計画である。田辺市は、南海トラフ地震において震度7が想定される地域であり、既存庁舎は海沿いに位置していたため津波の影響もあることから、高台へ移転することが求められた。

また、離れた場所にあった2つの庁舎のほか、保健センターや水道事業所など、分散していた機能を集約することとなり、新しい庁舎のあり方として、まちとどのようにつながかが課題となった。

一 居場所がつなぐ交流モール：つなぐ庁舎

計画地は、駅のある北側と商業施設や学校のある南側で9mもの高低差があり、まちの分

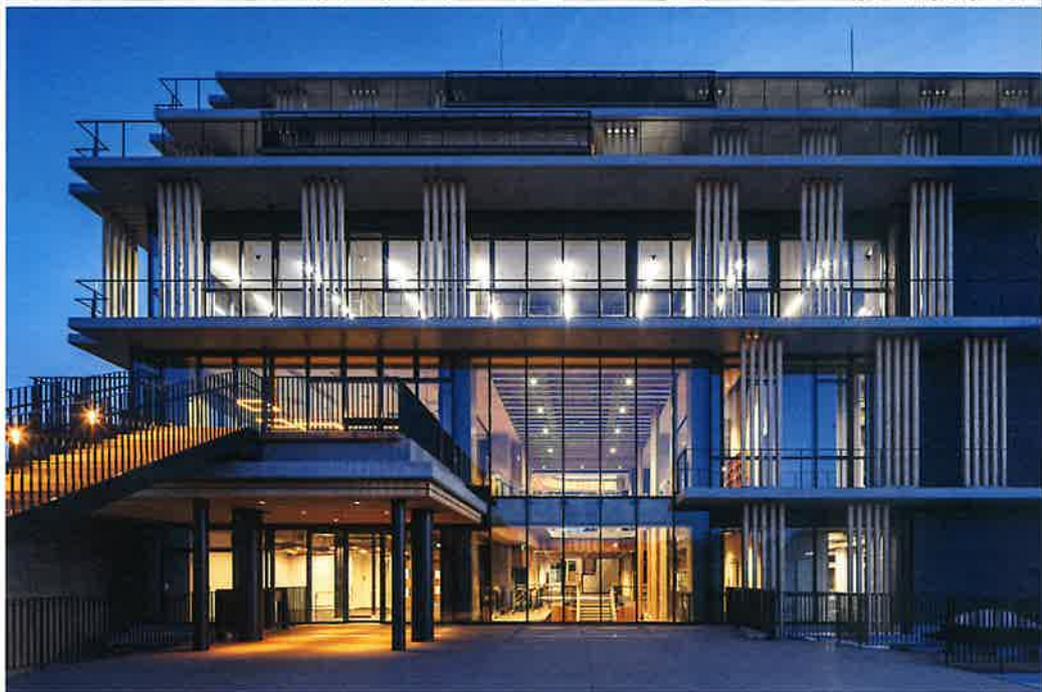
断が懸念された。そこで、1～4階まで南北を通り抜ける「交流モール」を設け、それに沿って多目的ホールや会議スペース、カフェ、キッズスペース、テラスなどを配置し、多様な活動と内外の居場所がまちをつなぐ構成とした。

一 高低差を活かした断面構成

周辺環境への影響を最小化するため、土圧を受ける既存躯体は一部を残して書庫棟に改築した。庁舎棟の構造形式は柱頭免震とし、その結果生まれた1階スペースは駐車場と多目的ホール、2階には保健センター、道路につながる3階は市民窓口とすることで、目的に応じて市民がアクセスしやすい計画とした。

一 見通しの良い梁レス・ワンルームの執務空間

執務空間は外周側1スパンを梁のない設備



上/海まで市街地全体が見渡せる立地 下/北側外観 木格子が内外に連続することで新しい外部とつながりが生まれる

ルートとしたスケルトン天井とすることで、見通しの良いワンルームの空間とした。各階を吹抜階段でつなぎ、市民スペースとの間を木格子で柔らかく仕切ることによって「見る・見られる」の距離感を調整し、ウェイファインディングにもつながる計画とした。

— 紀州材を活用した田辺らしい庁舎

内外に展開する5本1組の木格子は、5市町村合併を象徴し、熊野古道に林立する木々を連想させる空間とした。天井ルーバー、造作家具、吊り照明、サインなど随所に紀州材を活用することで、木のぬくもりが感じられる庁舎とした。

— 自然エネルギーを活かした安全・安心な庁舎

中央の吹抜はエコポイドとして田辺の心地よい風を庁舎内に取り込み、その上部に設けた

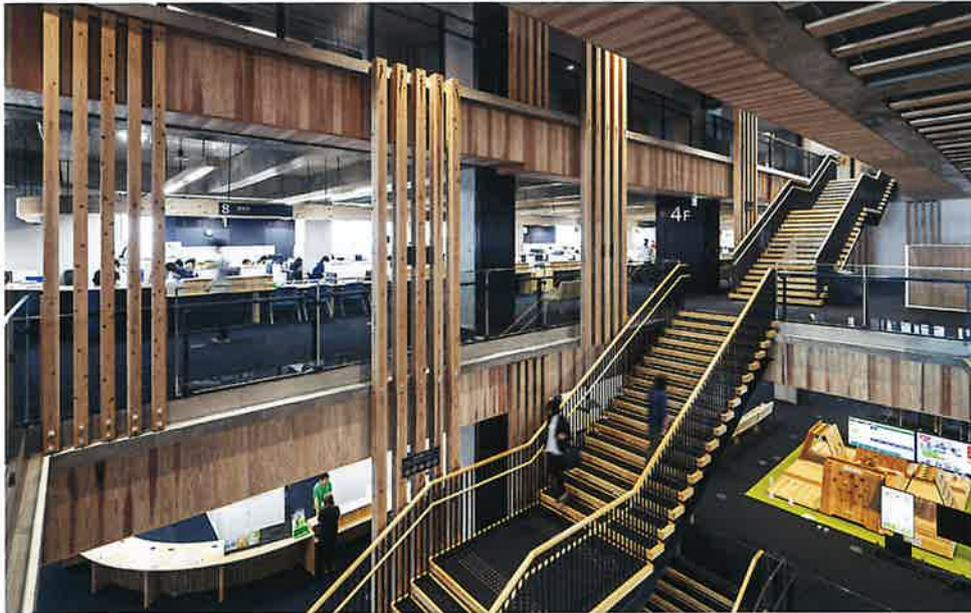
トップライトからは光を感じることができる。市街地から海まで一望できる美しい眺望の新庁舎は、災害時には市民を見守る災害対応

拠点としての機能が見込まれる。

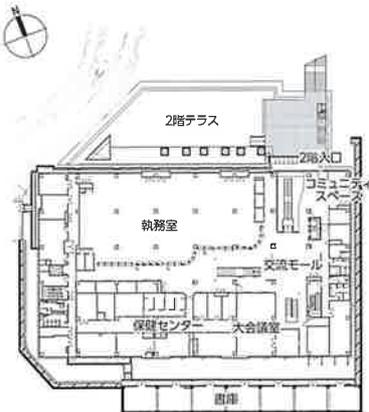
(松田修平、夢田吉宏、長岡寛之/石本建築事務所)



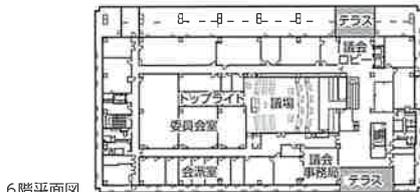
南東側外観



左上/吹抜階段 職員にとっても連携がとりやすい動線 右上/窓口カウンター 右中/見通しの良いワンルームの執務室 左下/カフェ 中下/会議室(右)とキッズスペース(左) 右下/議場



2階平面図



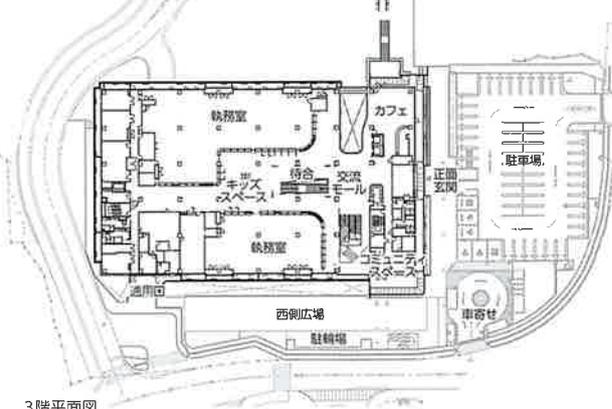
6階平面図



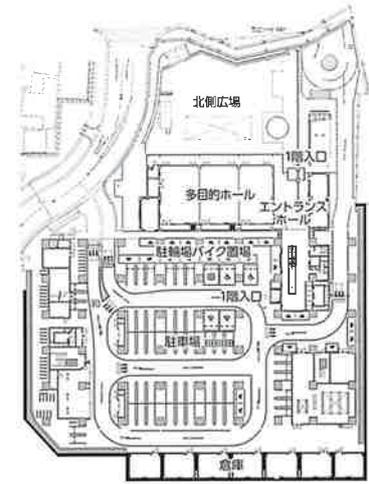
5階平面図



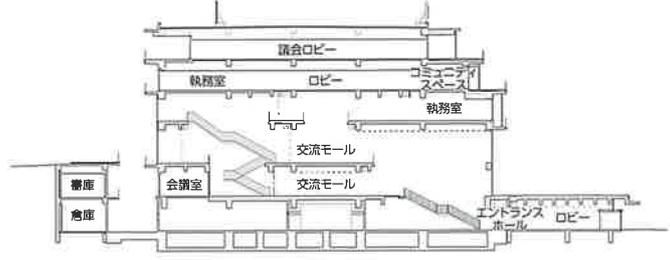
4階平面図



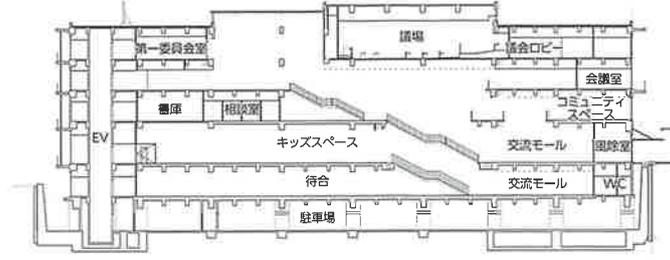
3階平面図



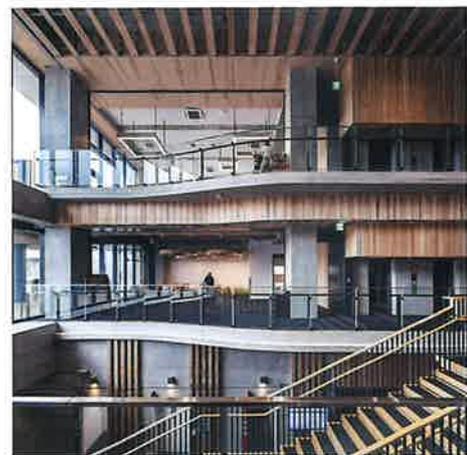
1階平面図 縮尺1/1,800



南北断面図 縮尺1/1,000



東西断面図 縮尺1/1,000



交流モール 高低差を活かした階構成

施工計画

2005年5月1日、田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、本宮町の5市町村が合併し、新たな「田辺市」が誕生した。

現場は旧田辺市のほぼ中心部に位置し、ホテルとショッピングセンターを併設した複合施設を解体して新築する計画であった。北側道路が1階、南側道路が3階に相当する約9.0mの高低差を有している。

解体計画は、既存土留め壁にアースアンカーを打ち込み、仮設土留めとして活用しながら解体を進めた。その残置躯体との取合い部は、解体時の振動によるクラックが発生しないよう、ワイヤーソーイングで切断した。

資材の運搬・搬入計画においては、北、東、南の三方向にゲートを設置し、住宅地を通過しないルートを計画することで、近隣への配慮および渋滞緩和に努めた。また、作業員の通勤車両については、南側店舗上階の立体駐車場を利用するため、鉄骨造の歩道橋を先行着工。作業員の道路横断を防

止することでも交通渋滞の緩和に努めた。

工程計画としては、北側多目的ホールの低層棟エリアにクローラークレーンを設置し、作業ヤードとして利用。南側庁舎棟（6階建て）躯体工事を先行し、その後クレーン解体、多目的ホール棟の低層棟躯体工事を進める間に6階建て庁舎棟の内装工事を進める流れで計画した。

測量計画では、前述のとおり、既存躯体の土留め壁を残置利用するため、建物がその箱体に収まるか、歩道橋と建物が図面どおり収まるかの検討を、解体工事を進めながら確認と調整を行った。品質管理計画における構造体の重要管理項目としては、1階防震装置下部プレートの高強度高流動コンクリート打設時に空隙をつくらないため、生コンクリートの配合計画から試験、打設計画、時間管理などを計画し、モックアップによる充填試験を繰り返し実施した。

意匠においては、象徴的な5市町村合併を表現する5本のルーバーが、将来的に腐食しないよう

にするための最適な防腐処理の選定が、重要な管理項目である。素地、自然塗装、外部用塗装2種、防腐剤注入材の5種類を同一条件下で約1年間設置し、経過を観察。その結果、最も腐食が少なかった防腐剤注入材を採用した。

また、来庁者がわかりやすいサインの設置を目指し、田辺市による監修のもと、複数回のモックアップ作成と検討を重ねたうえで完成させた。

工事期間中は、新型コロナウイルス感染症の流行、物価上昇、円高と様々な困難が重なった2年間であったが、近隣住民の方々、田辺市、設計監理者、協力業者の方々に支えられ、無事に工事を完了することができた。（長田 健/田中組）



長田 健……ながた けん

1972年和歌山県生まれ。1993年大阪工業技術専門学校建築学科卒業、1996年田中組入社。田辺市庁舎新築工事監理技術者

田辺市庁舎 データ

所在地 和歌山県田辺市東山1-5-1

主要用途 庁舎、多目的ホール、保健センター、カフェ

建築主 田辺市

設計・監理 石本建築事務所

担当/総括：松田修平 建築：松田修平、夢田吉宏
構造：長岡寛之、山下真一 設備：田中宏樹、黒部健太、坂本 圭 監理：吉田哲也 業務企画：松前和史

施工

建築 田中・東宝・山幸特定建設工事共同企業体

担当/田中組：長田 健、楠本真司、和田崎孝明、池本浩二、畑山悠樹 東宝建設：清水陽介、堀 猛
山幸：山本剛史

電気 第一テック・光明・岩本特定建設工事共同企業体

担当/第一テック：上野雅也 光明電設：梶谷佳史
岩本電気産業：浅井健吾

機械 一工・山本・第一特定建設工事共同企業体

担当/第一工業：水井 誠

設計期間 2018年12月～2021年3月

工事期間 2022年6月～2024年3月

【建築概要】

敷地面積 12,913.23㎡

建築面積 4,945.48㎡

延床面積 17,236.99㎡

建べ率 42.07%（許容80%、60%）

容積率 134.84%（許容400%、200%）

構造規模 RC・S造一部PC造 1階柱頭防震構造 地上6階

最高高さ 29.72m

軒高 28.94m

階高 4.10m

天井高さ 5m、2.8m、2.6m

主なスパン 9.3m×8.5m

道路幅員 12m

駐車台数 1階：55台 3階：56台

地域地区 商業地域、第一種住居地域

工事費 建築 5,423,829,400円

電気 1,431,309,000円

機械 1,744,400,900円

総工費 8,599,539,300円

【設備概要】

電気設備 受変電設備/高圧受変電設備3相3線6.6kV、3相3線210V、1相3線210/105V 自家発電設備/非常用発電機設備72時間、ディーゼル500kVA×1台、地下オイルタンク8,000L 防災設備/自動火災報知設備、非常照明、誘導灯設備、非常放送設備 その他/直流電源設備、雷保護設備、太陽光発電20kW、電源車接続盤（外部電源車による電力供給）

空調設備 空調設備/空冷HPチラー+パッケージエアコン換気設備/外気処理空調機、全熱交換ユニット、第1種・第2種・第3種換気設備 排煙設備/自然排煙、機械排煙
衛生設備 給水/加圧給水方式（受水槽6t） 排水/合併処理浄化槽（1,040人槽）（マンホールトイレ5カ所） 給湯/局所給湯方式、ガス給湯器、電気温水器 消火/屋内消火栓設備、連結送水管設備、泡消火設備（1階駐車場）、不活性ガス消火設備（サーバー室他）、消火器 雨水利用/雑用水用受水槽51t（中水トイレ利用）

昇降機 乗用（車椅子対応）13人乗×2基（東側）、人荷用（ストレッチャー対応）20人乗×1基（西側）

【主な外部仕上げ】

屋根 アスファルト保護防水絶縁断熱工法

外壁 コンクリート化粧放しの上フッ素樹脂塗装（クリア）
木ルーバー：120角紀州材自然塗料

建具 アルミサッシ：着色陽極酸化塗装複合皮膜 2・3階
スチールカーテンウォール

外構 タイル舗装、インターロッキングブロック舗装、ウッドデッキ敷

【主な内部仕上げ】

多目的ホール 床/タイルカーペット 壁/有孔シナ合板
EP 天井/岩綿吸音板、木ルーバー

執務室 床/OAフロア、タイルカーペット 壁/EP 天井/スラブ現し

交流モール 床/OAフロア、大判タイル 壁/水性シリコン樹脂クリヤー塗装 天井/スラブ現し

カフェ・物販 床/OAフロア、大判タイル 壁/水性シリコン樹脂クリヤー塗装 天井/スラブ現し

議場 床/タイルカーペット 壁/化粧壁 EP 天井/岩綿吸音板

撮影/川澄・小林研二写真事務所 船来洋志



南側外観

協力会社

土留めアンカー工事	大阪防水建設社
鉄筋工	前田鉄筋
型枠工	高山組
免震装置納入	日鉄エンジニアリング
エキスパンションジョイント工事	パラキャップ社
コンクリート圧送工事	田辺ポンプ
RCパネル（ハイブリッド）工法	O S H I R O X
ドアエンジニア	ナブテスコ
自動ドア工事	ナブテスコ
金属製建具工事	紀南トヨー住器
間仕切り重量SS・機引きSS・その他	三和シャッター工業
押出成形セメント板	アイカテック建材
穴あきPC板合成床材	ツルガ
家具工事	日本システム家具
再生木材デッキ	ハンディテクノ
フラッグポール・車止め	サンポール



松田 修平……まつだ しゅうへい

1976年兵庫県生まれ。2002年京都工芸繊維大学大学院工学部研究科造形工学専攻修了、石本建築事務所入社。現在、同社大阪オフィス設計監理統括



夢田 吉宏……ただ よしひろ

1978年山形県生まれ。2003年日本大学大学院理工学研究科修了、石本建築事務所入社。現在、同社設計部門建築グループ次長



長岡 寛之……ながおか ひろゆき

1981年大分県生まれ。2006年神戸大学大学院修了、石本建築事務所入社。現在、同社エンジニアリング部門構造グループ大阪オフィス兼デジタルイノベーショングループ次長

OSHIROXでは、独自の加工技術の組み合わせで、
これまでにない世界にひとつのコンクリートの壁をつくります。

田辺市庁舎

(和歌山県田辺市、2024年3月竣工)

設計/株式会社 石本建築事務所

施工/田中・東宝・山幸特定建設工事共同企業体

採用工法/RC外壁:ハイブリッドピーリング工法 ウォータージェット素地カラー仕上げ



★
田辺市役所
Tanabe City Hall

事業内容 ▶ 世界で一つの壁を作ります。:ハイブリッドピーリング工法 (ウォータージェット、特殊ピシャン、研ぎ出し) 責任施工
ハイブリッドカラーコーティング工法 (特殊塗装) 責任施工 含侵シリカコーティング剤及び、特殊塗料、特殊コーティング剤製造販売

株式会社

OSHIROX

代表取締役 牧野 宰之

【本社・ショールーム】

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL:06-6690-7372 FAX:06-6690-7373

【工場】

〒653-0032 兵庫県神戸市長田区対馬通1-3-17 TEL:078-671-1641 FAX:078-671-1643

【東京事務所】

〒146-0082 東京都大田区池上8-5-2 日興パレス池上101号室 TEL:080-8849-6985

<https://oshirox.jp>



HP



Instagram